

「2024年度第1回グリーンチャンネル放送番組審議会」議事の概要

1. 日 時 2024年6月9日（日）11:00～12:30

2. 場 所 東京競馬場 会議室

3. 出席者

委 員：石井秀司委員長、小林善一郎副委員長、有吉正徳委員、井口保子委員、
塩田忠委員、白川次郎委員、山田隆雄委員

財団側：勝見浩二理事長、成沢裕常務理事、鳩山正仁常務理事、藤川洋史理事、
上村健参与、若松吉勝経営企画部長、岡村隆編成制作部長

4. 内 容

(1) 【報告】2023年度第2回放送番組審議会の議事概要の公表について

(2) 【審議】2023年12月3日～2024年6月9日の放送番組について

(3) 【審議】指定番組について

①水曜馬スぺ！『競馬自由研究～障害レースを攻略しよう～』

(2024年4月3日放送)

②『馬を支える職人たち～装蹄師の物語～』（2023年12月4日放送）

5. 議事概要

審議に先立ち、財団側から2023年度第2回放送番組審議会の議事概要及びホームページ
公表日時（2023年12月28日（木）午前10時）について報告を行った。

【審議】2023年12月3日～2024年6月9日の放送番組について

委員の発言、財団側の説明

<競馬ブロス>

・個人的に注目している若手騎手が出演している「競馬ブロス」を視聴した。

発言内容は素晴らしいが、若さのせいかわ、緊張しているように見えた。

その後、同騎手が出演した「競馬イントロドン」を視聴したが、その番組ではとても生き生きと問題を答えていたので、余計にそのように感じた。

司会者や出演者には、若手騎手やテレビ出演に慣れていない関係者から、うまく話を引き出して、番組を盛り上げていただくことを期待する。

⇒貴重なご意見として頂戴する。

・同番組は、収録番組とは言え、ほぼ編集せずに放送しているが、これは何か理由があるのか。よりよい番組とするために、収録から1週後に放送するなど、編集に十分な時間を取って完成度の高い番組にした方がよいのではないか。

⇒同番組は前週のレースを振り返る月曜日、追い切りなど当該週のレースに関する情報が始まる水曜日の間となる火曜日の放送としている。ゲストは厩舎関係者がメイ

ンであり、収録に来られるタイミングも、火曜日であれば比較的设置しやすい。また、前週や当該週のレースの話題も取り上げることから、収録当日の放送が望ましく、ほぼ編集せずに放送している。

いただいたご意見も踏まえ、引き続きよりよい番組となるよう努めてまいります。

<スタリオンライブラリー>

・同番組では実績のある種牡馬を紹介しているが、これから産駒がデビューする新種牡馬も取り上げていただきたい。

⇒貴重なご意見として頂戴する。

<その他>

・重賞やGIレースだけでもよいので、参考レースや調教VTRを1頭ごとにまとめて、競馬新聞の馬柱を映像化したような番組をぜひ作っていただきたい。現状だと、参考レースや調教VTRは別の番組となっており、一度にまとめて見ることができる番組があってもよいと思う。

⇒貴重なご意見として頂戴する。

・視聴者からの番組に対するご意見などはどのようにしているのか？

⇒視聴者からは電話、メールで番組へのご意見などが寄せられる。また、番組からのプレゼントは葉書で応募を受付けており、番組へのご意見・ご感想の記載欄がある。寄せられたご意見などは、職員で共有している。

【審議】指定番組について

① 水曜馬スベ！『競馬自由研究～障害レースを攻略しよう～』

(2024年4月3日放送)

委員の発言・財団側の説明

- ・障害初心者向けに、障害レースの体系図などがあれば、よりわかりやすかったのではないかと感じた。障害レースを知っているという前提で構成されていると感じた。
- ・引退騎手や現役騎手のコメントは重みを感じて、良かったと思う。
- ・競馬自由研究シリーズは面白いと思う。今後も様々なテーマで展開していただきたい。

⇒貴重なご意見として頂戴したい。

・同番組に出演していたのが関西の関係者のみだったため、関東の騎手の話も取り上げて欲しかった。

⇒阪神競馬場と栗東トレーニング・センターで収録を行ったため、今回の出演者となった。貴重なご意見として頂戴したい。

② 『馬を支える職人たち～装蹄師の物語～』(2023年12月4日放送)

委員の発言・財団側の説明

- ・作業中の装蹄師の手元をカメラで間近で撮影されており、鉄から蹄鉄が作られる様子がよく分かった。今回は装蹄師の物語として放送されたが、装蹄師を取り上げた番組の中で一番良かったと思う。
 - ・この番組では装蹄師の大会ということで、広い意味での装蹄を取り上げていた。同じ装蹄でも競走馬と乗馬では違うものであり、ごくごく初歩的な内容と感じた。競走馬の装蹄という形で内容を絞った方が、より興味を持ってもらえるのではないかと感じた。
 - ・競走馬の装蹄師、乗馬の装蹄師、馬産地の装蹄師などのそれぞれの1日の流れや仕事内容を紹介すると、視聴者も装蹄師の仕事をイメージすることができるのではないか。
 - ・装蹄師は、競馬を影で支える裏方の方々を紹介するという意味でよかったと思う。今回のような番組を見て、若い人たちが興味を持って、競馬産業を目指す人が増えるとよいと感じた。
- ⇒貴重なご意見として頂戴したい。

以上